

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

76号
2021
12.24

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中!

(植物園会館売店および各門にて)



← 京都府立植物園【公式】Twitterアカウント始めました! 見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園【公式】YouTubeチャンネル始めました! 動画で園内の様子を紹介しています。 →



第30回 ポインセチア展

- 期間: 12月1日(水)~12月25日(土)
- 場所: 観覧温室(特別展示室・ジャングル室)
- 内容: ポインセチア約100品種、700鉢を展示。
特別展示室では「クリスマス飾り」を展示!

若手作家による希少植物作品展

~あしもとにゆらくvol.3~

- 期間: 12月18日(土)~12月26日(日)
10:00~16:00
- 場所: 植物園会館2階多目的室
- 内容: 若手作家による水彩画等、全国各地の希少植物が描かれた作品を展示

バラ剪定講習会

- 1月8日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)
- 「ツルバラの剪定について」(講演と実演)
- ※場所: 植物園会館2階研修室・ばら園
- ※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)
- ※ばら園で実技があります。※定員: 先着60名

バラ剪定講習会

- 1月22日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)
- 「四季咲きバラの剪定について」(講演と実演)
- ※場所: 植物園会館2階研修室・ばら園
- ※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)
- ※ばら園で実技があります。※定員: 先着60名

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内!

毎週水曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「副園長のほっこりガイド」

1月23日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

第11回 新春を彩る

寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

- 期間: 1月10日(月祝)~1月30日(日)
- 会場: 北山門周辺 ~壁掛け型ハンギングバスケット&寄せ植え!
- 【ハンギングバスケット体験教室】*会場にて
- *日程: 1/15(土)、16(日)、22(土)、23(日)、29(土)
- *時間: 10:00~14:00随時受付
- *材料費: 2,000円(別途入園料)

第30回 洋ラン展

- 期間: 2月4日(金)~2月13日(日)
- 場所: 観覧温室(特別展示室)
- 内容: 洋ラン約200鉢を展示!(販売あり)

「第17回 早春の草花展」

~すぐそばの春~

2月11日(金祝)~3月13日(日) 10:00~16:00
大芝生地 特設会場にて・・・
~寒さの残るこの季節・・・
一早早く「春の景色」をお届けします!~

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

- ~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~
- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)
- * 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
- 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
- 大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ プレウロタリス・マルタエ
ラン科。南米コロンビア原産。プレウロタリス属は世界で約1100種あり熱帯アメリカのみに分布している。葉の付け根から花茎が伸びているので葉の中心部から花が咲いているように見える。マルタエはプレウロタリス属の中では大型の種。

⑪ ウンナンロウバイ
ロウバイ科。中国の雲南省が原産。花の少ないこの季節に咲くことからギリシャ語で「冬の花」という意味があり、属名のChimonanthusの由来。ロウ細工のような花弁は薄く半透明で、基本種のロウバイに比べて白っぽいところが大きな違い。

⑩ シークワーサー
ミカン科。琉球諸島及び台湾に自生。沖縄方言で「シー」は「酸、酢」「クワーサー」は「食わせるもの、加える」を表し、合わせると「酸を食わせるもの、酸を加える」を表す。別名は果実の形から「ヒラミレモン（平実レモン）」と呼ばれている。

⑨ ハボタン
アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。ハボタンはその中のケールを觀賞用に改良したもの。

① イチゴノキ
ツツジ科。地中海沿岸からアイルランドに分布。イチゴのような果実をつけることからこの名が付いた。アセビに似た白い壺形の小さな花を晩秋に咲かせる。果実は年を越し翌秋に、緑色から黄、オレンジ、赤へと変化し、晩秋に成熟する。

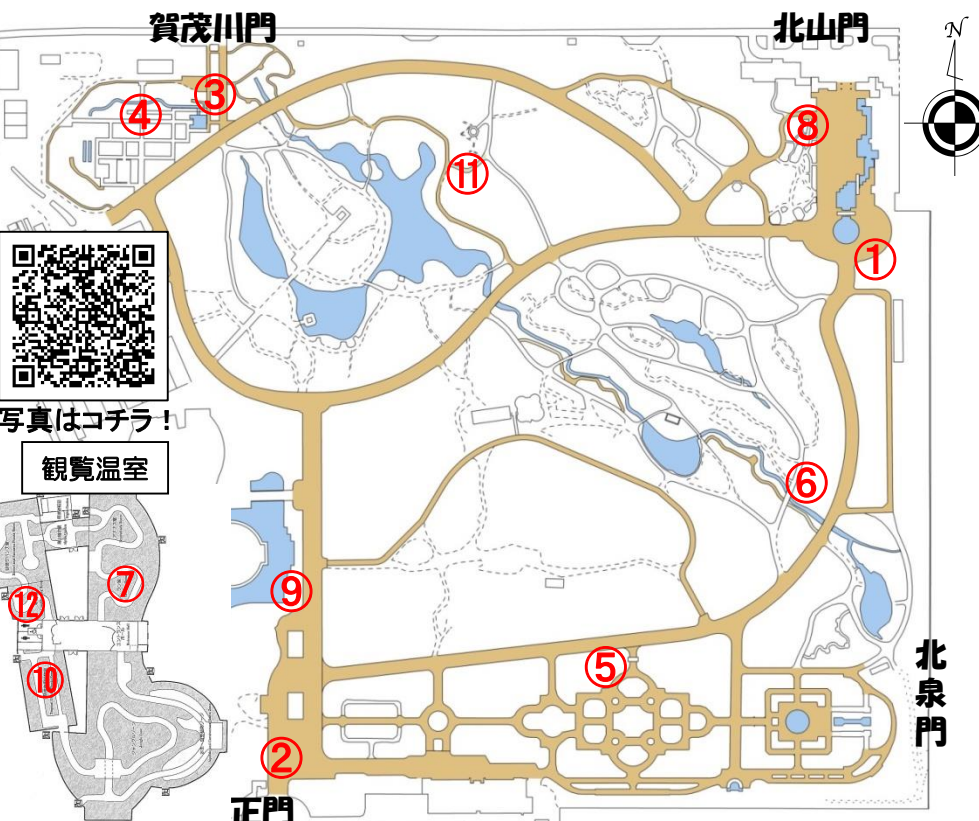
② ビオラ
スミレ科。ヨーロッパに自生する野生種から育種され、かつては大輪のものをバンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していた。しかし、現在は複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別しにくくなっている。

③ オオツワブキ
キク科。九州の海岸近くの岩場に分布。ツワブキと比べて全体に大型で花期は12月～1月とかなり遅め。葉は腎円形で葉身の幅が45cm、長さが35cmにもなり、花茎も1mになる。また葉柄は食用としても利用されている。

④ サネカズラ
マツブサ科。関東以西の本州や四国、九州などの山野に分布。果実は光沢があり美しく、おいしそうに見えるが食用には向かない。昔、つるから出る粘液を整髪料として利用していたことから「美男葛（びなんかずら）」との別名もある。

⑤ バラ「ブルー・バユール」
バラ科。1993年にドイツで作出された。8cmほどの大きさの淡い青紫色の花を咲かせる。紫系のバラの中でも青みが強いので、青いバラと呼ばれる品種。中輪であるが花色・花型ともに優秀な品種である。微香で花つきも良い。

⑥ センリョウ(千両)
センリョウ科。関東以西の本州、九州、沖縄などに分布。縁起の良い名前から正月飾りに使われることで知られる。マンリョウと混同されることがあるが、センリョウの実葉の上には、サクラソウ科のマンリョウの実の下にできる。



⑧ クニフォフィア「クリスマスチャー」
ワスレグサ科。野生種は南アフリカなどに分布。花は下から上に咲き進みオレンジ色に色づくため、その様子を燃えさかるたいまつ（トーチ）に見立てて「トーチリリー」、もしくは旧属名の「トリトマ」と呼ばれることが多い。

⑦ キンカチャ(金花茶)
ツバキ科。中国南部からベトナム北部が原産。1948年に学術書に記載された新種で、ツバキ属では黄色の花が従来知られていなかった。新たな珍しい花色のツバキが存在するということが植物の世界で大きな話題になった。